

2020 年度 通常総会

事務局

6月16日（火）13時30分～14時30分、環境文明21事務局（東京都大田区）において、2020年度通常総会を開催した。（東京都の指導により対面での会合は避け、オンライン会議システムと書面表決を組み合わせた。）

正会員74名中、オンライン出席者4名、書面41名、議長等への表決委任者19名であり、定款に基づき総会は成立した。

総会出席者（敬称略、50音順）

（代表）藤村コノエ、（理事）井村秀文、田崎智宏、（顧問）加藤三郎

1. 役員（理事および監事）に関する事項

新理事として柴山徳一郎氏が加わることに ついて審議した結果、承認された。その他の現理事（11名）と監事（1名）については再任が承認された。

2. 事業報告および活動計算に関する事項

[2019年度 事業報告]

1) 環境問題に関する政策提言

- ①持続可能な脱炭素社会に向けた政策提言
- ②日本国憲法に環境原則（持続性理念）を導入することについての政策提言
- ③グリーン連合活動

2) 環境問題に関する調査研究

- ①中小企業の脱炭素化を支援する活動
- ②市民版環境白書2019（グリーン・ウォッチ）の発行支援と次年度白書の編集・執筆
- ③「環境倫理」部会
- ④「憲法」部会
- ⑤「脱炭素」部会

3) 環境問題に関する普及啓発

- ①会報の発行（年12回発行）
- ②「経営者「環境力」大賞」の顕彰・発表会
- ③環境文明塾の開催
- ④グリーン連合「市民版環境白書2019（グリーン・ウォッチ）発行記念シンポジウム」支援
- ⑤「ECO動画甲子園」事業支援

4) 環境問題に関する交流

- ①全国交流大会
- ②経営者「環境力」クラブ
- ④黒部峡谷エコツアーの開催
- ⑤支部活動（関西グループ及びその他の各支部）

5) その他

- ①運営委員会の開催
- ②企業との協働
- ③ホームページの更新
- ④会報等のインターネット配信システムの整備
- ⑤インターネットを介した広報活動など

[2019年度 活動計算書]

（収入の部）	（単位：円）
会費収入	4,513,800
助成金収入	2,000,000
寄付金収入	3,293,659
その他収入（受取利息他）	31
当期収入合計	9,807,490
（支出の部）	
事業費	8,579,049
管理費	1,073,316
法人税等（受取利息の税金）	4
当期支出合計	9,652,369
当期収支差額	155,121

3. 事業計画および活動予算に関する事項

[2020年度事業計画]

1) 環境問題に関する政策提言

- ①持続可能な脱炭素社会に向けた政策提言
- ②日本国憲法に環境原則（持続性理念）を導入することについての政策提言
- ③グリーン連合活動

2) 環境問題に関する調査研究

- ①中小企業の脱炭素化を支援する活動
- ②市民版環境白書 2020（グリーン・ウォッチ）の発行支援と次年度白書の編集・執筆
- ③脱炭素社会における倫理部会

- ④憲法部会

- ⑤脱炭素部会

3) 環境問題に関する普及啓発

- ①会報の発行（年12回発行）
- ②「経営者「環境力」大賞」の顕彰・発表会、
- ③環境文明塾の開催
- ④グリーン連合「市民版環境白書 2020（グリーン・ウォッチ）発行記念シンポジウム」支援

- ⑤ECO動画甲子園事業支援

4) 環境問題に関する交流

- ①全国交流大会
- ②経営者「環境力」クラブの活動
- ③エコツアーの開催
- ④支部活動（関西グループ及びその他の各支部）

5) その他

- ①インターンの受け入れ
- ②企業との協働
- ③ホームページの更新
- ④会報等のインターネット配信システムの整備
- ⑤インターネットを介した広報活動など

[2020年度活動予算書]

(収入の部)	(単位：円)
会費収入	5,300,000
助成金収入	2,000,000
寄付金収入	2,050,000
当期収入合計	9,350,000
 (支出の部)	
事業費	8,303,100
管理費	1,044,000
当期支出合計	9,347,100
当期収支差額	2,900

3. その他、今後の活動方針等

主な意見は下記の通り。

- 今回のコロナ禍で判明した社会の盲点（飲食、旅行、観光産業へのダメージ、個人への補助金配布による財政圧迫など）を見直し、中小企業の経営者が考える企業の在り方や今後進むべき方向性なども「環境文明社会」という視点から議論してはどうか。
- グローバル化は必要だが、背景になる思想、新しい価値観の伝え方が課題。新しい人間関係、都市と農村など、コロナはグローバル資本主義の今後を考える良い機会ではないか。
- 環文が提案する「日本の持続性の知恵」がコロナの時代で活かせるか。
- 文明について再認識する機会。ウェブをうまく使いながらタスクフォースや部会での議論ができるのではないか。
- これを機に新しい関係づくり（農家でアルバイトしつつWebで大学に在籍でき、先端的な議論にも参加など）、新しいネットワークができるのでは。仕事の生産性もオンラインの方が上がるケースもある。
- 会報を露出度の高い媒体と繋げ、接点のなかった人たちにアクセスできるようアウトリーチの努力を続ける。